

平成21年度

海外福岡県人会子弟招へい事業 報告書

平成21年7月11日(土)~22日(水)



海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

目次

CONTENTS

はじめに	-----	1
知事あいさつ	-----	2
概要	-----	3
参加者名簿	-----	4
全体プログラム日程	-----	6
プログラム内容	-----	7
総評	-----	12
参加者等の感想	-----	13
参加者レポート／子弟	-----	14
参加者レポート／引率者	-----	35
参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	-----	41
福岡県の海外県人会	-----	46
実施要綱	-----	47
マスコミ取材等	-----	48



はじめに

平成21年度海外福岡県人会子弟招へい事業参加者として、6ヶ国から30名の皆さんが福岡県に來られました。

昨年度から始まりました本事業は、今年で2年目を迎え、昨年よりも多くの参加者を福岡へお迎えすることができました。

参加者の皆さんは、太宰府天満宮やトヨタ自動車九州工場等を視察したり、和太鼓、和ごま、南京玉すだれなどの日本文化の体験をしたり、さらに、吉武小学校、大島小学校やホストファミリーの皆さんとの交流、またご親戚宅にステイした子どもたちは、久々に会った親戚との交流を深めることができました。

このプログラムを通して、皆さんはたくさんの友人を得ることができたでしょう。友情は貴重な財産となります。福岡で得たこの財産を大切にしながら、日本との更なる友好親善のために活躍していただきたいと思えます。

参加者の皆さんが事業終了後も福岡で得た知識や経験を通じて培ったネットワークをいかし、今後は母国で県人会活動の核として取り組むことは意義深いことであり、本実行委員会としても、こうした活動を支援してまいります。

最後に本事業の実施に当たりご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げるとともに、この事業の今後さらなる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成21年12月

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会
実行委員長 西原 徹

ごあいさつ

福岡県から海外に移住した方々とその子弟等で組織する「海外福岡県人会」は、世界9カ国、21カ所に設置されています。

海外福岡県人会の皆さんは、これまで、母県福岡への熱い思いを抱きながら、移住国の発展に重要な役割を果たされ、それぞれの国において、確固たる地位を築いてこられました。今日、グローバル化の進展により、地域間交流の重要性が増す中、本県と移住国との交流の窓口である県人会は、本県の国際化の進展にとってかけがえない貴重な財産であり、県人会の皆さんと福岡県は強い絆で結ばれています。



一方、県人会では、会員の高齢化や世代交代の進行に伴い若い世代の県人会に対する関心も薄れ、会員の減少や活動の停滞が懸念されています。このような中、県人会がさらに発展していくためには、活動の核となる若手人材を育成することが大変重要な課題となっています。

本県におきましては、これまで、福岡県移住者子弟留学生の受け入れや周年事業への参加などを通じ県人会の活動を支援してきました。

さらに平成20年度からは、人材育成の支援を目的に、県人会の子弟を福岡に招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通して、福岡に対する興味・関心を持ち、理解を深めていただく「海外福岡県人会子弟招へい事業」を始めました。

参加した子どもたちが、福岡での体験について目を輝かせて家族や県人会の皆さんに披露しているという話や、福岡への留学を目指して日本語の勉強を始めた子どもたちがいるという話を聞いて大変うれしく思っています。本事業に参加した子どもたちが、福岡県出身者の子弟であることを誇りに思い、将来県人会活動の核として活躍していただくことを大いに期待しています。

本事業の実施に当たりご協力いただきました皆さんに深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

平成21年12月

福岡県知事

麻生渡

概要

1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促します。これにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成することを目指します。併せて県人会の活性化を図ります。

2 期 間：平成21年7月11日(土)～22日(水)

3 招へい者人数：6カ国30名【内 訳】子弟20名、引率者10名

国 名	子弟招へい数	引率者数
ブラジル連邦共和国	10	4
ボリビア多民族国	1	1
コロンビア共和国	1	1
メキシコ合衆国	1	1
ペルー共和国	2	1
アメリカ合衆国	5	2
合 計	20	10

4 内 容

(1) 同年代の子どもたちとの交流

大島小学校、吉武小学校、和太鼓グループ、和ごま少年グループとの交流

(2) 福岡の魅力に触れる

トヨタ自動車九州工場、ロボスクエア、福岡市内視察（山笠見学）、北九州市内視察（小倉城、皿倉山見学）、太宰府天満宮見学、モノレール乗車体験等

(3) ルーツを探る

親戚宅、福岡県海外移住家族会会員宅、ボランティア宅へのホームステイ

(4) 日本文化の体験

日本語学習、南京玉すだれ、和太鼓、和ごま体験

5 主 催

「海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(財)福岡県国際交流センター

事務局：(財)福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：(財)サニックススポーツ振興財団

参加者名簿

【参加者】 6カ国9県人会から子弟20名、引率者10名が参加しました。

No.	県人会名	引率子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	篠崎 和哉 ニコラス	男	ブラジル
2			三田 フィリッペ	男	ブラジル
3			リマ 吉武 ビトル タカシ	男	ブラジル
4			石川 千恵 ジュリア	女	ブラジル
5			山下 カミーラ ユミ	女	ブラジル
6			馬場 メリッサ ハルナ	女	ブラジル
7			斉藤 グスターボ 光司	男	ブラジル
8			朝倉 信二 グスターボ	男	ブラジル
9			行徳 アンドリュー	男	ブラジル
10		引率	上ヶ島 アケミ パトリシア	女	ブラジル
11	建本 美智香 マルリー		女	ブラジル	
12	石井 クリスチアーネ		女	ブラジル	
13	ベレン福岡県人会	子弟	オノ ヴィセンテ ベアトリセ	女	ブラジル
14		引率	信重 真紀 アンジェラ	女	ブラジル
15	在ボリビア福岡県人会	子弟	徳永 アルベルト 準一	男	ボリビア
16		引率	川波 ユリ	女	ボリビア
17	コロンビア福岡県人会	子弟	倉富 エルナンデス カミロ	男	コロンビア
18		引率	古賀 百合 ルス アンヘラ	女	コロンビア
19	メキシコ福岡県人会	子弟	ロドリゲス ホルヘ タネシチ	男	メキシコ
20		引率	平田 フランシスコ	男	メキシコ
21	ペルー福岡クラブ	子弟	ユズリハ セバステイアン ダイジ	男	ペルー
22			本園 ナカンダカリ アンドレア	女	ペルー
23		引率	クロイワ サンペイ アメリア ピラー	女	ペルー
24	ハワイ福岡県人会	子弟	マスダ ジョン ヒロアキ	男	アメリカ
25			エキモト グレイス ナナミ	女	アメリカ
26			ヒラオカ コートニー レイ	女	アメリカ
27		引率	マスダ アイリーン ヤスコ	女	アメリカ
28	カウアイ福岡県人会	子弟	ハラグチ ケルシー	女	アメリカ
29	サンフランシスコ福岡県人会	子弟	井上 メラニー 恵利	女	アメリカ
30		引率	井上 ロルナ メグミ	女	アメリカ

参加者名簿

【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	南 ビビアン 千秋	女	ブラジル
2		平田 エリス 直美	女	ブラジル
3		砥綿 アンナ カロリーナ	女	ブラジル
4		永島 まり子 イラシ	女	ブラジル
5		秋岡 シルヴィア ルミ	女	ブラジル
6	トメアス福岡県人会	稲田 明 アウミー	男	ブラジル
7	在ボリビア福岡県人会	川波 真理	女	ボリビア
8	ペルー福岡クラブ	梅崎 カリジョ レスリー	女	ペルー

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

A Group	子弟：篠崎 和哉 ニコラス 三田 フィリッペ リマ 吉武 ビトル タカシ	引率者：上ヶ島 アケミ パトリシア 留学生：稲田 明 アウミー 平田 エリス 直美
B Group	子弟：石川 千恵 ジュリア 山下 カミーラ ユミ 馬場 メリッサ ハルナ オノ ヴィセンテ ベアトリセ	引率者：信重 真紀 アンジェラ 建本 美智香 マルリー 留学生：永島 まり子 イラシ
C Group	子弟：斉藤 グスターボ 光司 朝倉 信二 グスターボ 行徳 アンドリュー	引率者：石井 クリスチアーネ 留学生：秋岡 シルヴィア ルミ
D Group	子弟：倉富 エルナンデス カミロ 徳永 アルベルト 準一	引率者：川波 ユリ 古賀 百合 ルス アンヘラ 留学生：川波 真理
E Group	子弟：ロドリゲス ホルヘ タネシチ ユズリハ セバステイアン ダイジ 本園 ナカンダカリ アンドレア	引率者：平田 フランシスコ クロイワ サンペイ アメリア ピラー 留学生：梅崎 カリジョ レスリー
F Group	子弟：マスダ ジョン ヒロアキ ハラグチ ケルシー ヒラオカ コートニー レイ エキモト グレイス ナナミ 井上 メラニー 恵利	引率者：マスダ アイリーン ヤスコ 井上 ロルナ メグミ 留学生：砥綿 アンナ カロリーナ 南 ビビアン 千秋

全体プログラム日程

7月

11日 (土)	入 国 宿泊 グローバルアリーナ	17日 (金)	午前 福岡県青少年科学館見学 午後 和太鼓グループとの交流 引率者会議 南京玉すだれ練習 宿泊 グローバルアリーナ
12日 (日)	午前 オリエンテーション 午後 日本文化体験 宗像高校によるロボット実演 花火 宿泊 グローバルアリーナ	18日 (土)	午後 福岡市内買い物 ホストファミリーとの対面式 宿泊 ホームステイ
13日 (月)	午前 吉武小学校との交流 午後 福岡市内見学 歓迎会 宿泊 グローバルアリーナ	19日 (日)	終日 ホストファミリーとの交流 宿泊 ホームステイ
14日 (火)	午前 トヨタ自動車九州工場見学 午後 北九州市内見学 宿泊 グローバルアリーナ	20日 (月、祝) 海の日	終日 ホストファミリーとの交流 宿泊 ホームステイ
15日 (水)	終日 大島小学校との交流 宿泊 グローバルアリーナ	21日 (火)	午後 送別会 福岡市内見学 宿泊 グローバルアリーナ
16日 (木)	午前 県知事表敬 県議会議長表敬 午後 太宰府天満宮見学 和ごま少年グループとの交流 宿泊 グローバルアリーナ	22日 (水)	出 国

第1日目 11日(土)

●入国

6カ国(ブラジル・ボリビア・コロンビア・メキシコ・ペルー・アメリカ)から子弟20名、引率者10名が来福しました!



福岡県移住者子弟留学生による出迎え



子どもたちの到着

第2日目 12日(日)

午前 オリエンテーション

参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中の諸注意を皆で確認しました。また、福岡県の現状や日本語、日本のマナーについても一緒に学習しました。



滞在先のグローバルアリーナ



オリエンテーション



午後 日本文化体験(南京玉すだれ) & 宗像高校によるロボット実演



南京玉すだれ



宗像高校電気物理部の皆さんと



夜は花火を楽しみました

第3日目 13日(月)

午前 吉武小学校との交流

吉武小学校の皆さんに日本の遊びを教えてもらったり、一緒に日本食を作ったり、工作を体験しました。



剣玉に挑戦



冷汁作り



糸のこ体験

午後 福岡市内見学

博多町屋ふるさと館、川端商店街など、博多の町を散策。
また、博多の夏の風物詩・博多祇園山笠の山車も見ることができました。



博多町屋ふるさと館



川端商店街



博多祇園山笠

歓迎会

歓迎会には、新社会推進部国際交流局の田中俊太局長、福岡県海外移住家族会の武藤英治会長をはじめ、家族会員の皆さんもいらっしゃいました。



自己紹介



武藤会長



参加者代表あいさつ

第4日目 14日(火)

午前 トヨタ自動車九州工場見学

宮若市にあるトヨタ自動車九州工場を見学しました。



見学の様子



午後 北州市内見学

小倉城見学、モノレール乗車体験の後、夜は皿倉山から夜景を眺めました。



モノレール乗車体験



皿倉山からの夜景



小倉城にて

第5日目 15日(水)

終日 大島小学校との交流

大島小学校の皆さんと給食を一緒に食べ、大島の伝統行事である山笠を体験しました。



記念品交換



給食



大島山笠体験



お別れの様子

第6日目 16日(木)

午前 麻生福岡県知事表敬訪問&今林福岡県議会議長表敬訪問



麻生渡県知事表敬にて



県知事と記念品交換



今林久県議会議長をはじめ県議会議員の皆さんと一緒に



県議会議場にて

午後 太宰府天満宮見学&和ごま少年グループとの交流

太宰府天満宮参拝後、福岡県和ごま競技普及協会の少年たちと交流しました。



太宰府天満宮



こまの投げ方を教えてもらいました

第7日目 17日(金)

午前 福岡県青少年科学館見学

久留米市にある県内唯一の地球をテーマとする科学館を見学しました。



海老井悦子副知事にご案内頂きました



科学館内にて



午後 和太鼓グループとの交流&引率者会議

博多おっしょい太鼓のメンバーと和太鼓を体験しました。



合同演習



太鼓のストラップを作りました



博多おっしょい太鼓グループと

第8日目 18日(土)

午後 福岡市内にて買い物 ホストファミリーとの対面式



買い物



ホストファミリーとの対面式

第9日目 19日(日)

終日 ホストファミリーとの交流

第10日目 20日(月・祝)

終日 ホストファミリーとの交流

第11日目 21日(火)

午後 送別会

ホストファミリーの皆さんが送別会に来てくれました。



ホストファミリーと一緒に



南京玉すだれを披露しました

福岡市内見学



ロボスクエア



福岡タワー

最終日 第12日目 22日(水)

● 出国

別れを惜しみながら、再会を誓って帰国しました。



子弟招へい事業プログラムについて（事業の総評）

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する 等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ててもらうことを目的としている。

事業の参加者数は、昨年度は5カ国5県人会25名であったが、今年度は6カ国9県人会30名と増加した。昨年度から始まった事業ではあるが、徐々に各県人会へと浸透しているようだ。また、引率者からも、「これまで県人会活動に消極的だったり、活動の意義に疑問を感じていたが、この事業に参加した子どもたちの様子を見て、県人会活動の大事さを認識した。自分も帰国したら県人会活動に積極的に関わろうと思う」などの声があり、子どもたちだけでなく引率者にも強いインパクトを与えたようだ。

12日間の福岡滞在中、様々なプログラムを実施したが、事業後のアンケートによると吉武小学校でのゲームや料理体験、大島小学校での山笠参加、そして子どもたちとの和太鼓・和ごまの交流が好評で、同年代の子どもたちと一緒に、実際に体験するプログラムの人気が高かった。

また、プログラムの中には、親戚やボランティア宅等への3泊4日のホームステイもあり、「日本の文化と習慣を知ることができた」「普段の日本人の生活を少しでも味わうことができた」などの感想が多かった。参加者たちは、親戚と会ったり先祖のお墓参りに行ったり、福岡の様々な場所を訪ねたりして、自身のルーツを探るという目的を達成できたのではないかと感じる。

各県人会から福岡に留学している「福岡県移住者子弟留学生」は、この事業の期間中、子どもたちのお兄さんお姉さんとなり、身の回りの世話をしたり言葉のサポートをしたりして、子どもたちの大きな支えとなっていた。プログラム終盤には、この両者間に絆や連帯感が生まれ、子どもたちの帰国後もメールのやり取りなどで交流が続いている。留学生と交流することで、日本語をもっと勉強して自分たちも将来留学生として福岡県に戻って来たい、という思いを強くした子も多い。

この事業には子どもたちを中心に、その保護者、引率者、福岡県移住者子弟留学生、各県人会、福岡県海外移住家族会と多くの人に関わった。様々なプログラムを通して子どもたちが成長することが、引率者を始めすべての関係者に素晴らしい影響を与え、この事業の大きな成果となったと考える。

今後も、このような重層的な交流が継続的に続くことにより、次の世代の県人会の担い手が育っていくことが期待される。

参加者等の感想

子どもたちからの感想

- ・ いつか福岡県移住者子弟留学生として日本に戻れるようにたくさん勉強を頑張る。
- ・ 祖父母が、太宰府天満宮は勉強の神様だと教えてくれたので、お守りを大切にして、勉強してまた日本へ行きたい。
- ・ 他の国の子どもたちと友達になることができた。
- ・ 珍しい食べ物を食べたり、友達を作ったり、買い物をしたり、美しい景色を見たり、忘れられない経験ができた。
- ・ 大島小学校のみんなと冷汁を作ったので、家に帰って母と一緒に作った。
- ・ このプログラムで、私が今まで知らなかった日本の親戚が見つかった。
- ・ 自分の家族への寂しさを感じないくらい、楽しい時間を過ごせた。
- ・ 日本文化だけではなく、他の参加者の国々の習慣や言語についても、学ぶことができた。
- ・ ホームステイは、日本人の普段の生活を見ることができ、とても素晴らしい経験だった。

保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- ・ 責任感や、友達・家族の大切さといった価値観が変わり、成長したようだ。
- ・ 帰国後の楽しそうな顔、そして何よりたくさんの友達ができ、一生役に立つ知識を得て帰ってきたことに気付いた。
- ・ 福岡県移住者子弟留学生との触れ合いが印象的だったようで、いつか自分も留学生として戻りたいと言うようになった。その願いを叶えて欲しいと思う。
- ・ 日本が大好きになり、日本の文化や芸能について関心を持つようになった。
- ・ 子どもが「また日本へ行きたい」と言う姿を見て、参加させてとても良かったと思う。
- ・ 帰国後は時間を守るようになり、持ち物の整理整頓やお金の使い方にも責任感を持てたようだ。
- ・ 先祖の国と、自国との違いを身をもって体験し、将来への夢が大きくなったようだ。
- ・ 日本に戻るために毎日少しでも日本語を覚えようとしている姿が見られる。
- ・ 福岡県の子孫である事を誇りに思うようになって帰ってきた。このプログラムで楽しい時間と大切な経験をしたことが伝わってきた。

引率者からの感想

- ・ このプログラムは、子どもたちにも、引率者にとっても、自分のルーツを知るとても良いチャンスだった。
- ・ このプログラムの思い出は、大切な宝として、私たちの心の中に一生残るものになった。
- ・ このプログラムを通して、子どもたちは、祖父母の国の文化や習慣について知識を深め、日本人の子孫であることに誇りを持つことができた。
- ・ 各国の移住者の一人として、先駆者が歩んできた道を受け継いで、日本の良い習慣や文化を広め、自分の務めを果たさなければならないと思っている。
- ・ 各国の県人会参加者との交流や親睦を図ることが出来て幸運だった。これからも連絡を取り合いたいと思う。
- ・ 日本との絆が途絶えないように願う気持ちが強くなり、県人会の活動に協力していきたいと思う。

参加者レポート

子弟



参加者レポート（子弟）



A グループ

ブラジル福岡県人会

篠崎 和哉 ニコラス

SHINOZAKI KAZUYA NIKOLAS

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Eu vou lembrar de todos os eventos, todos foram divertidos
全てが良い思い出です。全部楽しかったです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

見たことや体験したことすべてが楽しかったですが、僕はとくに科学館の見学とたくさんの友達ができただけが一番良かったです。日本の文化についていろいろ覚えることができ、日本にもっと関心を持つようになりました。

親御さんからのメッセージ

ニコラスにとって祖父の故郷を訪れたことは、間違いなく素晴らしい経験となりました。ニコラスは日本が大好きになり、日本の文化や芸能について関心を持つようになりました。近い将来、日本へ戻りたいと申しております。

参加者レポート（子弟）



A グループ

ブラジル福岡県人会

三田 フィリッペ

MITA FILIPE

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Home stay. O passeio pelo Parque.

ホームステイ。遊園地へ行くことができたから。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅行は、とても楽しかったです。将来留学か仕事で、また福岡へ戻りたいと思っています。日本はとても美しく清潔で、エコな国です。その他にも、伝統文化を守り、礼儀正しく、お寺にはお坊さんがいたり、銅像などがあったり、そして色々な生物がいる国だと思いました。

親御さんからのメッセージ

息子にとってこの旅は大変勉強になりました。息子は、母方の祖父には都合で会うことはなかったので、今までお会いしたことがない親戚に会い、自分のルーツを知り、迎える事ができたのはとても誇りに思えることです。

親元を離れ、グループで旅行することによって自分の持ち物の管理に関して、そしてお金の使い方に関して、もっと責任感が持てたように思います。ブラジルの留学生との触れ合いもとても印象的であり、いつか自分も留学生として戻りたいと言うようになりました。そのためにも、息子は自分自身が勉強し、努力しなくてはいけないということを知っているので、いつかその願いが叶って欲しいと思っています。

参加者レポート（子弟）



A グループ

ブラジル福岡県人会

リマ 吉武 ビトル タカシ

LIMA YOSHITAKE VITOR TAKASHI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Todas, não teve melhor, todas as foram divertidas

全部楽しかったので、一番は決められません。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本で楽しかったことは、他の国の子どもたちと友達になれたことや、和ごま・和太鼓交流、そして小倉城や、吉武・大島小学校を訪問したことです。

買い物の時に一番楽しかったことは、僕たちと一緒にグループだった留学生の稲田くんが、百元ショップや、おもちゃ、そしてアニメのお店に連れて行ってくれたことです。

ホームステイでは、ホストファミリーの人たちが日本語しか話せなかったのとまどいしましたが、良かったです。

一番辛かったことは、狭いイスに座って飛行機の中で往復60時間を過ごさなくてはならなかったことです。でもそれ以外では、とても良い旅行でした。

いつか福岡県移住者子弟留学生として戻れるようにたくさん勉強します。がんばります！！

親御さんからのメッセージ

息子は混血ですけれど、小さい頃から自分は日本人だと言っていました。

今回お爺ちゃんのふるさとへ行き、ホームステイの皆様にお爺ちゃんの生まれた所、または子どもの頃に遊んでいた場所に連れて行ってもらうから、自分は日本人だけれど、日本の人たちと会話ができるためには、まだまだたくさん日本語の勉強をしなければならぬと分かったようです。

今後、もっともっと頑張って、福岡県移住者子弟留学生として日本に戻りたいと言っています。

参加者レポート（子弟）



B グループ

ブラジル福岡県人会

石川 千恵 ジュリア

ISHIKAWA TIE JULIA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Eu lembro do 山かき, quando todo mundo foi puxando o carrinho.
山笠で、皆でおみこしをかついでいた時が一番楽しかったです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

みなさんお元気ですか？私は元気に学校で頑張っています。日本ではたくさん思い出を作れて、私はとても幸せでした。

初めは怖くて緊張していました。家族と別れるのは悲しかったです。飛行機の中では本を読んだり、お話をしたり、ご飯を食べたり、眠ったりして、やっと日本に着きました。

2週間でたくさんのことをしました。珍しい食べ物を食べたり、友達を作ったり、買い物をしたり、美しい景色を見たり、忘れられない経験をしました。

今は日本語の勉強を一生懸命しています。日本へまた行きたいと思います。

みなさん、どうもありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

私たちの娘は、初めて一人で旅行をしました。私たちはとても複雑な気持ちでした。でも、行かせてとても良かったと思いました。空港でジュリアに会ったとき、また日本へ行きたいと言っていました。家族みんなで集まって、色々な話を聞き、写真も見せてくれました。みんながニコニコしていて、とても幸せそうでした。

今でもジュリアは、いつも日本のことを思い出すと何かコメントをします。皆さん、ジュリアにこんな機会を与えて下さって、本当にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



B グループ

ブラジル福岡県人会

山下 カミーラ ユミ

YAMASHITA CAMILA YUMI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

① *de taiko, aprender a tocar Taiko.*

和太鼓。太鼓がたたけるようになりました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅行はとても楽しかったです。私は、たくさん友達ができ、外国の子たちとも友達になれました。私が一番楽しかったのは、和太鼓の練習です。色々間違えましたが、覚えるのはとても楽しかったです。

日本で過ごした毎日はとても楽しく、いろんなことを覚えました。たくさん勉強をして、また何度も福岡へ戻りたいと思っています。

この機会を与えてくれた皆さん、ありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

この事業に携わり、成功へと導かれた方々にとても感謝しております。

子どもたちはお互いを知らず、少々不安気味で出かけて行きましたが、帰国後のみんなの楽しそうな顔、そして何よりたくさん友達ができて、一生役に立つ知識を得て帰ってきたことに気付きました。

本当にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



B グループ

ブラジル福岡県人会

馬場 メリッサ ハルナ

BABA MELISSA HARUNA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Evento que eu mais vou me lembrar foi o intercâmbio com a escola Oshima não teve nenhum evento que eu mais me diverti todos foram muito legais.

大島小学校との交流が思い出に残りました。全部楽しかったので一番は決められません。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本で、日本語と福岡の文化（例えば祭り、食べ物、踊りなど）について学びました。

私が一番楽しかったのは花火で遊んだことと、他の国の子や引率者、福岡県移住者子弟留学生と友達になることができたことです。

将来、旅行や勉強で、また福岡へ戻りたいです。

親御さんからのメッセージ

この経験は家族一同にとって、とても良かったと思っています。

娘は、いろいろな国の子どもたちと交流ができて、楽しい話をたくさんしてくれました。言葉があまり通じなくてとまどったこともあったと思いますが、これからもっと日本語を勉強するように努力するはずです。日本の文化をはじめ、思いやりも大切にして、国際人になるように努力したいと思っています。このプログラムのおかげで、娘自身が強くなったと思います。

参加者レポート（子弟）



B グループ

ベレン福岡県人会

オノ ヴィセンテ ベアトリセ

ONO VICENTE BEATRICE

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Dissemto o qual encontrei o governador, não teve nenhuma que eu me lembrava muito que o sucesso foram muitas divertidas.

全部楽しかったですが、県知事表敬が思い出に残りました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

期待していた以上に日本を知ることが出来てとても嬉しかったです。ありがとうございました。日本の街はとてもきれいで、人々はとても礼儀正しいと思いました。

私は学校を訪問し、その授業のやり方がとても良いと思いました。いろいろな遊びも楽しかったです。県知事や関係者の方々の、大変な歓迎に感激しました。日本語がよく解らないのが残念でしたが、いろいろな国の人たちと友達になり楽しかったです。これからは、日本語をもっと勉強して、大きくなったら日本で勉強したいと思っています。

本当にありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

この度は、娘を日本訪問のプログラムに参加させて頂き、誠にありがとうございました。娘にとって初めての海外旅行であり、先祖の国を身近で見て自国との違いを身をもって体験し、将来への夢が大きくなったように思われます。貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

このプログラムに御協力下さった方々に厚く御礼申し上げます。

参加者レポート（子弟）



C グループ

ブラジル福岡県人会

齊藤 グスターボ 光司

SAITO GUSTAVO KOUJI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Gostei de jogar o pião e o que mais me diverti

和ごま体験が一番楽しかったです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の友達やおばさんたち、ありがとうございます。

みんな、とても良かったです。大島へ行ったこと、みんなで冷汁を作ったこと、太鼓、和ごま、県知事表敬、花火、ロボットが気に入りました。

日本の食べ物はとても美味しかったです。帰ってきたばかりなのに、ウナギ、ラーメン、かき氷などが恋しいです。

おじいちゃんとおばあちゃんが、太宰府天満宮は勉強の神様だと教えてくれたので、お守りを大事にして、勉強を頑張ってまた日本へ行きたいです。

親御さんからのメッセージ

日本の皆様、親戚の方々、色々優しく気遣ってくださり、御礼申し上げます。

短い期間でも、自信が湧いたようです。息子は祖母たちとお話をしている時には、スラスラと日本語の返事が出来ます。例えば、「はい、少しだけ、たくさん」などです。その時は感動しました。

モノレール乗車や、車の工場等見せてもらい、この体験は一生に残る思い出となったようです。県人会、日本の皆様に心より感謝し、御礼申し上げます。

参加者レポート（子弟）



C グループ

ブラジル福岡県人会

朝倉 信二 グスターボ

ASAKURA SHINJI GUSTAVO

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Do Taiko e também foi o que eu mais me diverti.

和太鼓交流です。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この最高のプログラムで学んだことは、海外の友達と付き合う事です。日本の文化や生活、料理、太鼓などを経験できて、大変素晴らしい勉強になりました。

日本の南京玉すだれを、ブラジルの友達に教えて一緒に遊んでいます。そして、小学校のみんなど冷汁を作ったので、家に帰って母と一緒に作りました。

小さい時から、おじいさんから日本の話を聞いて育ってきたので、実際に日本へ行くことは夢でした。

皆様、このプログラムに参加させて頂きまして、本当にありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

皆様、息子が大変お世話になりました。このプログラムに参加して、色々な変化があったと思います。

息子自身のことと言うと、より強くなりました。そして、今は正しく時間を守るようになりました。また、自分の物の整理や、お金についての責任がわかってきたように思います。

この旅は、息子の一番大切な体験で、一生忘れることができないと思います。本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

参加者レポート（子弟）



C グループ

ブラジル福岡県人会

行徳 アンドリュー

GYOTOKU ANDREW

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

O que # mais me lembro foi o Nankin Tamasudare. E o que eu mais me diverti foi o Wagoma.

思い出に残ったことは、南京玉すだれです。一番楽しかったことは、和ごま体験です。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕の日本への旅行はとても価値あるものとなりました。他の国の子どもたちと小学校や工場、福岡の特別な場所を訪問できて、たくさんのことを学びました。

僕の先祖の地を訪ねることで、日本文化や習慣について少し学ぶことができ、この機会を与えてもらい、福岡県、ブラジル福岡県人会、そしてスザノ支部の皆さんにとっても感謝しています。

将来、日本文化や日本での知識と交流を深めるために、また戻りたいと思っています。本当に忘れられない思い出になりました。ありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

この経験は色々な面で、息子にとって、とても大切なものとなったように思います。

まず、息子は祖先の故郷である福岡県を訪れることで、自分自身のルーツについて知ることができました。お祭りや色々な活動を通じて、自分と同年代の子どもたちの、日々の生活を体験することができました。

もう一方では、近くに親の存在がないことで、息子は自分自身で様々なことを学び、友達や家族の大切さを知り、責任感が芽生え、成長したように思えます。

アンドリューがこのプログラムに参加させていただく貴重な機会を与えていただきまして、大変感謝いたしております。

参加者レポート（子弟）



D グループ

コロンビア福岡県人会

倉富 エルナンデス カミロ

KURATOMI HERNANDEZ CAMILO

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Mis amigos y las fotos.

友達ができたことと、写真が思い出に残りました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私はこの旅行でとても楽しい思い出や、色々なことを学ぶことができました。

日本は文化、芸術、技術において大変優れており、活気があります。このプログラムに参加した事で新しい友達が出来ました。とても嬉しかったことは、日本で私が今まで知らなかった親戚が見つかった事です。これは大変驚くべき出来事でした。

また、日本の技術はすばらしいです。そして日本人は皆がとても親切です。教養があり、規則正しく行動していました。日本は大変きれいで安全な国でした。

私は、このプログラムを実施して頂いた人たちに大変感謝します。ありがとうございました。そしてまたいつか、私の国コロンビアに皆さんが来られたら、お世話をしたいと思っています。

親御さんからのメッセージ

彼は美しい国・日本に感動して帰って来ました。

これからは、日本語を勉強させ、いつの日か又機会があれば、日本へ旅行させたいと思っています。

色々どうもありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



D グループ

在ボリビア福岡県人会

徳永 アルベルト 準一

TOKUNAGA ALBERTO JYUNICHI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

思い出に残ったことは、しんせきの家に行ったことでも
楽しかったのは、しんせきと水ぞくかみに行ったこと。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は初めて日本に行って見た高い建物に、ビックリしました。なぜかという、日本とボリビアの建築技術は違うからです。

グローバルアリーナに着いたときの晩御飯にサンドウィッチをもらいました。

次の日、ペルー、コロンビア、ブラジル、メキシコ、アメリカの人と友達になれて嬉しかったです。大島小学校の生徒と山笠体験に参加し、トヨタ自動車工場見学、日本文化体験の南京玉すだれも楽しかったです。色々な体験を通して、2週間があっという間に過ぎました。

最後の3泊4日のホームステイは僕のおじさんの家に行きました。阿蘇山に連れて行ってもらいました。夜はいとこの勇太兄ちゃんとゲームセンターに連れて行ってもらいました。これから、たくさんの友達と文通をしたいです。

親御さんからのメッセージ

昨年は兄の勇一がこの体験に参加させてもらい、再度次男が続いて祖父母の故郷を実際、自分自身で訪れたことがとても良かったです。これからの人生にとって良い経験をさせてもらい、日本の清潔さが印象に残ったみたいです。

国際交流センターの皆さま、県人会の皆さま、色々とお世話になり、誠にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



E グループ

メキシコ福岡県人会

ロドリゲス ホルヘ タネシチ

RODRIGUEZ JORGE TANESHICHI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Lo mejor que me quedo de recuerdo fue ir en barco y lo que más me gusto fue cuando comimos sushi

一番の思い出は、大島へ船で渡ったことと、お寿司を食べたことです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡では、他の国々の習慣も知ることができたし、一緒に来た子どもたちも自分の国々でやっていることや、どんなスポーツをやっているかなど、それぞれの好きなことを話してくれました。

僕は日本で、メキシコと違う生き方がある事、メキシコで食べるお寿司と違う種類がある事を知り、また太鼓や和ごまなどを習いました。

そして、雨が降る時にちゃんと水が流れるように、家の屋根が少し曲がっている事も発見しました。福岡では道端にごみを捨てる人がいないことは、メキシコ人も見習わなければいけないと思いました。なぜかと言うと、メキシコの道はゴミだらけだからです。

また、福岡では、他の国々と違う自動車の組み立て方と輸出の仕方をしていました。特にアメリカ方面に輸出しているし、日本の自動車はメキシコと違って、環境に優しい近代的な車でした。

親御さんからのメッセージ

息子は確かに変わったと思います。

いろいろな事を見てとても喜んでいきますし、他の国の子どもたちとの話、一緒に体験し、福岡で一緒に学んだことなど、色々話しています。

彼はとても喜んで、日本の文化をもっと知りたいと希望しています。

参加者レポート（子弟）



E グループ

ペルー福岡クラブ

ユズリハ セバステイアン ダイジ
YUZURIHA SEBASTIAN DAIJI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Quando fuimos a conocer los templos, las comidas y el Home Stay

神社を見学したことと、日本の食事とホームステイです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本では日本語の重要性や新しい友達の大切さを知る事が出来ました。

日本人は環境についてよく考えている事に気が付きました。例えば街にはごみ無く、整理整頓されていて、そして何より印象に残ったことは、日本人は時間をしっかり守る事です。

楽しい時間を過ごし、自分の家族への寂しさを感じないくらい、みんなと楽しく暮らしました。

また、将来は日本に行き、日本についてもっと勉強をしたいです。この素晴らしい経験をさせて頂き本当にありがたいですし、福岡県人会にとっても感謝しています。

私の夢を実現して下さい、ありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

私の息子ダイジは日本に行く前から、すごく期待をし、とても興奮していました。なぜなら息子は、いつか日本に行きたいと願っていたからです。

息子は福岡県の子孫である事を誇りに思っています。楽しい時間と大切な経験を感じた事が伝わってきます。このプログラムに参加した事で、本人は自分に自信をもつようになり、一人の人間として独立出来たと感じます。そして何よりも日本語に対してのやる気のみなぎり、日本にまた戻りたいという気持ちから、毎日少しでも日本語を覚えようとしている姿が見られます。

息子に大切な経験を与えて頂き心から感謝をしています、誠にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



E グループ

ペルー福岡クラブ

本園 ナカンダカリ アンドレア

MOTOSONO NAKANDAKARI ANDREA

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

Conocer a personas de otros países, me diverti
conociendo Fukuoka

色々な国から来た人たちと知り合いになることができ、福岡を見学し楽しむことができました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、私はたくさんのことを学びました。例えば、日本の習慣について、人々がどのように生活しているのか、福岡の歴史、南京玉すだれや和ごまのような面白い伝統芸についてです。また、日本文化だけではなく、私はブラジルやアメリカ、ボリビア、メキシコ、そしてコロンビアのような他の国々の習慣や言語についても、たくさん学ぶことができました。

このプログラムは、日本がどれだけ美しい国で、日本について学ぶことがどれだけ価値のある大切なことだということを私に教えてくれました。そしてまた、このプログラムがとてもすばらしい経験になったことや、めったに体験できることではないことを実感しました。

たくさんの人と出会えたこと、私の祖父母の生まれ育った土地を訪れて体験したことは、私のこれからの人生に大いに役立つと信じています。

ありがとう、福岡！

親御さんからのメッセージ

アンドレアは福岡から帰って来た時とても幸せそうでした。そして、いつか福岡に戻りたいと言っていました。

アンドレアは、以前とは少し違って、より大人びて、自立した子どもになって戻ってきました。彼女は私たちに、体験したことを、誇らしげに楽しそうに話してくれました。私たちは、より多くの子どもたちがこのプロジェクトに参加できればいいなと思っています。

本当にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



F グループ

ハワイ福岡県人会

マスダ ジョン ヒロアキ

MASUDA JOHN HIROAKI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

My favorite part of this trip was the food. It was delicious and unique.

食べ物は一番素晴らしかったです。独特で、とても美味しかったです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本とアメリカは、かなり文化が異なっていますが、日本もアメリカも互いに文化を尊重しています。しかし、日本人はまるで伝統文化が始まった時にそこにいたかのように、今でも伝統文化を実践しています。私は日本が長い年月の間、この伝統をどのように守ってきたのだろうか、とても興味を持ちました。例えば、プログラム中に体験した、和太鼓、日本の祭りそして、昔ながらの日本の遊びなどです。

このプログラムは全て楽しかったので、今後も続けて欲しいと思います。このプログラムに参加しなければ、経験できなかったことがたくさんありました。もっと多くの子どもたちがこのプログラムに参加し、私たちが体験したことと同じように、日本の文化を経験してほしいと思います。

親御さんからのメッセージ

福岡への旅は、日本文化に対する息子の視野が広がり、日本人の生活を体験することができたと思います。

日本では皆が、知らない人に対しても「おはようございます」とお互いに挨拶をします。ジョンは、自分から挨拶をすることを学びました。そして、食べたことの無い日本食を積極的に食べていましたし、お箸の使い方も習得しました。そして、ジョンは、今ハワイで、日本のテレビ番組を楽しく観ています。

彼は日本で経験した全てに感謝をしています。

参加者レポート（子弟）



F グループ

カウアイ福岡県人会

ハラグチ スエコ ケルシー

HARAGUCHI SUEKO KELSEY

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

My favorite part of the trip was being with the host family and going to their friends house and trying on yukatas that was really really fun.

一番楽しかったことは、ホストファミリーと一緒に過ごした時間です。ホストファミリーの友達の家遊びに行き、浴衣を着ることができ、とても嬉しくて楽しかったです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私はカウアイからの代表として参加しました。私は、この子弟招へいプログラムに参加できたことをカウアイ福岡県人会に感謝したいです。そしてこのプログラムに参加できるように私を選んでくれた、国際交流センターの皆様にも感謝しています。

私は日本に着いて、すぐに日本語での自己紹介が出来るようになりました。ペルーやブラジル、コロンビア、ボリビア、メキシコから来た子どもたちと会い、グローバルアリーナで楽しく過ごしました。すぐに皆と友達になることができました。福岡県知事にもお会いすることができ、吉武小学校・大島小学校も訪問しました。トヨタ工場、福岡県青少年科学館、和ごま・和太鼓交流、北九州見学、南京玉すだれも楽しみました。

福岡を訪れ、一生に一度の機会を与えて頂いたことに、感謝します。これは私にとって初めての日本訪問でした。この思い出を一生大切にします。

親御さんからのメッセージ

このプログラムに参加して、ケルシーは、より自立し、学校生活もよりうまくいっています。彼女は、高校生になったら、交換留学生になりたいと言っています。

参加者レポート（子弟）



F グループ

ハワイ福岡県人会

ヒラオカ コートニー レイ

HIRAOKA COURTNEY REI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

My favorite part of this program is meeting new people and seeing new places and eating new food.

一番楽しかったことは、新しい友人に出会えたこと、新しい場所へ行けたこと、新しい食べ物を食べることが出来たことです。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡では、新しい友達を作ることができ、新しい経験ができました。その中の一つで、福岡県知事に会う機会がありました。普通の人が麻生知事に会うことはできないので、とても良い機会でした。

また、私は世界各国から来た参加者たちと友達になりました。彼らは、私たちアメリカ人に彼らの言語を教えてくださいました。とても楽しかったし、将来、また会えると良いです。

福岡では、曾祖父の出身地や私のルーツ、伝統的な日本の習慣についても学びました。そして、いつも思い出すのは、小倉城を訪れたことです。私たちが訪問した中でも、とても歴史的な場所でした。他の視察先も楽しかったけれど、私の中では、小倉城が際立って良かったです。

日本で多くの素敵な思い出を作ることができ、ハワイ福岡県人会、福岡県、福岡県国際交流センター、そして私のホストファミリーであるキンバー家に、とても感謝しています。このプログラムのことは、ずっと心に残る思い出です。他の参加者との友情のおかげで、他の言語や文化を覚えることもできました。福岡での思い出は、特別なものとして、いつも心の中にあります。

親御さんからのメッセージ

コートニーの曾祖父は福岡県の出身者で、福岡県移住者の子弟に対し、一生に一度のこの機会を与えてくれたことに感謝しております。私たちは、この事業が今回参加した子どもたちを通して、将来の日本とアメリカ、ハワイ間の強い基盤を築いてくれると信じています。

親としては、海外へ娘を一人で行かせることはあまり気が進むことはありませんでした。

この国際的な経験は、今後娘の成長に繋がっていくことでしょう。コートニーが福岡に滞在した間にサポートして下さった方々、そして、ハワイの引率者であるマスダさんに深く感謝したいと思います。

コートニーは、このプログラムに参加したことで得た経験から、自分自身にもものすごく自信をつけ、すごく喜んで福岡から戻ってきました。

コートニーは、ホストファミリーであるキンバー夫妻が、滞在中にコートニーとケルシーに対しての温かいもてなしに、とても感謝をしています。キンバー家はコートニーにずっと残る思い出として日本の文化や親切さを経験させてくださいました。私たちは、コートニーを温かく迎えてくれ、日本で家族生活を彼女に紹介してくれたラリー・ミエコ キンバーさんそして、彼らの子供であるザックとジェイクに心からの感謝と“ありがとう”を伝えたいです。

私たちの娘が色々お世話になり、本当にありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



F グループ

ハワイ福岡県人会

エキモト グレイス ナナミ

EKIMOTO GRACE NANAMI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

I liked the food and the people
in Japan cause they were nice.

日本料理や日本人はとてもすばらしくて、好きになりました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

この旅行では、すべてが素晴らしかったので、一番楽しかったことを決められません。今回私は、コロンビア、ペルー、ブラジル、メキシコ、アメリカ、ボリビアという世界中に住む新しい友達を作ることができました。彼らとは、言葉は通じなくても素晴らしい友達になることができました。

そして、日本で食べたご飯はすべて美味しかったです。

自宅に戻って来られたことも嬉しいですが、日本が本当に恋しいです。

親御さんからのメッセージ

生まれて初めて2週間も親と離れて日本を旅するということで、親として不安がないわけではありませんでしたが、私の故郷にこういう形で訪れてくれることが嬉しくもありました。娘が帰ってきたとき、彼女の口から出た言葉は、「日本に戻りたい！」でした。その一言でこの滞在がいかに彼女にとって楽しく充実していたかがわかりました。帰ってきた日の夜は夕飯を食べながら、日本が恋しいと涙ぐんだほどです。

また、何が面白かったか、と聞くと「全部！」だそうですし、「お小遣いを貯めて日本に行く」と日本行きの計画までたてるほどです。それほど彼女にとって楽しい旅行だったようです。

一人っ子ですので、何かと親の手がかかっておりますが、今回の旅を通して随分自分に責任を持てるようになりましたし、何よりも自分に自信がついたようです。お友達ができただけでも大きな宝物です。彼女の年齢でこんなに素晴らしく貴重な体験ができたことは、親としても嬉しい限りです。ハワイに戻っても何かと日本語を読もうとする姿勢が見え、頼もしく思います。時々出てくる博多弁も親にとっては嬉しい響きです。これで日本語の勉強にも少し力が入りそうです。

最後になりましたが、滞在中は福岡のスタッフの皆様に変な良くしていただき、そのご苦労とご尽力に対し、心から感謝いたします。ありがとうございました。

参加者レポート（子弟）



F グループ

サンフランシスコ福岡県人会

井上 メラニー 恵利

INOUE MELANIE ERI

プログラムの内容で一番思い出に残ったこと、楽しかったことは？

I liked how we went on a lot of field trips, we also met new friends from around the world.

色々な場所へ行くことができ、良かったです。そして新しい海外の友達ができました。

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、他の国から来た多くの参加者と友達関係を築くことができ、他の国の言葉も学ぶことができました。一番大好きだった南京玉すだれなどの日本文化についても学びました。サンフランシスコに戻ってからも、色々な人に披露しています。

私は、日本語での自己紹介の仕方を学びました。神社では手を洗い、お祈りをすることも学びました。ホームステイの時には久留米ラーメンなどの日本食にも挑戦しました。ホームステイは、日本人の普段の生活を見ることができ、とても素晴らしい経験でした。そして、2つの小学校を訪問し、サンフランシスコの小学校とどのように違うのか、比較できたことも楽しかったです。県知事に会えたことも、すごく良かったです。

このプログラムは本当に楽しかったです。ありがとうございました。

親御さんからのメッセージ

メラニーは、日本へ行くことを楽しみにしていましたが、子弟招へい事業に参加することは、最初はすごくためらっていましたが、しかし、他国の参加者に出会うとすぐに彼らと友達になれ、毎日がとても楽しそうでした。彼女は全ての体験を楽しみ、毎日何か新しいことを学んでいました。

福岡を離れたくなかったし、今でもまた皆と会いたいと話しています。そして、彼女が経験したこと、学んだことについて話したりします。あらゆる方面において、彼女の世界を広げることができたと思います。彼女はこれを機に福岡や日本との特別な絆を持つことができたでしょう。

参加者レポート

引率者



参加者レポート（引率者）



A グループ

ブラジル福岡県人会

上ヶ島 アケミ パトリシア

KAMIGASHIMA AKEMI PATRICIA

このプログラムは、子どもたちにも私たち引率者にとっても、自分のルーツを知るとても良いチャンスでした。昔からの伝統文化が、今でも続けられているのにびっくりしました。

吉武小学校と大島小学校での交流や、お手玉、おはじき、和ごまと和太鼓交流など、全てが初めての経験でした。また、神社や博多町屋ふるさと館では、日本の古いしきたりや習慣を見ることができ、青少年科学館では日本の革新的技術の素晴らしさに目をみはりました。みんな、自分の国とは違う日本の伝統を習うことができました。

この旅行での思い出は、お土産と共に、お金には代えられない大切な宝として私たちの心の中に一生残るものとなりました。子どもたちは、帰りたくないと言っていました。どうか、このプログラムがこれからも続けて行われ、他の人たちも私たちと同じように素晴らしい体験ができますよう、心から願っております。

このプログラムの実現に関わられた皆様に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



B グループ

ベレン福岡県人会

信重 真紀 アンジェラ

NOBUSHIGE MAKI ANGELA

海外福岡県人会子弟招へい事業は7月11日から22日までの楽しい思い出になりました。今年参加した外国の子どもたちは、花火、和太鼓、南京玉すだれなど、初めての経験をして、とても楽しんでいました。

グローバルアリーナで過ごした期間は、美味しい料理と遊べる場所があったので、子どもたちにはとても良かったと思いました。

また、3泊4日のホームステイで、私は優しいホストファミリーに会い、色々なところへ連れて行ってもらいました。

参加者レポート（引率者）



B グループ

ブラジル福岡県人会

建本 美智香 マルリー

TATEMOTO MITIKA MARLI

この海外福岡県人会子弟招へい事業の10日間は、とても盛りだくさんのスケジュールが組まれていて少々ハードに感じることもありましたが、福岡空港に到着した瞬間から帰国する時までどこへ行っても皆様に温かく迎えて頂き、まるで自分の故郷に帰ったような気持ちになりました。子どもたちは日本語が余り話せない子がほとんどでしたが、日本の子どもたちと一緒に祭りなど色々と体験していくことで心が通じ合ったようでした。言葉という壁を越えて分かり合っていたようです。子どもたちは福岡が大好きになり、いつかきっとまた戻りたいと申し出ています。

私としては、小さいお子様をお預かりするという事で、大変責任を感じ、緊張もしていましたが、自分自身の成長にも繋がったような気がします。そして子どもたちに、色々と教える立場の私たち引率者が、逆に何に対してもまっすぐな子どもたちに、大切な何かを教わったような気がします。

私は幼い頃から日本文化、そして日本に関する全てのものに大変興味を持って育ちました。そして特に福岡は祖父の故郷ということで、昔から自分自身の故郷のように感じていましたので、子どもたちと一緒に祭りや体験し、日本の小学校を訪問させて頂いたことはとても感動的でした。子どもたちと同じように、私たち引率者にとっても忘れられない経験となりましたし、一生心に残る貴重な思い出がたくさんできました。この素晴らしい経験を通じて得ることができた様々なことを、今後何らかの形で活かして行きたいと思っています。本当にありがとうございました。



C グループ

ブラジル福岡県人会

石井 クリスチアーネ

HICHI CRISTIANE

この事業での体験は、私にとっても子どもたちにとっても、素晴らしい経験となりました。このプログラムを通じて子どもたちは祖父母の国の文化や習慣についての知識を深めることができ、日本人の子孫であることにますます誇りを持つことができたと思います。

事業の期間中は、福岡の色々な所を訪問し、色々な人たちとの交流を行いました。私たちは小学校を訪問することで、日本の子どもたちの日々の生活を知ることができ、子どもたちは自分たちの祖先の国の文化や言葉を覚えようと、もっと興味を持つようになりました。

帰国後、県人会会館で再び集まった時は、子どもたちがとても生き生きして嬉しそうで、日本語で話そうと努力していました。前より日本語に興味を持ち始めたことが良く分かりました。この経験はいつまでも皆の思い出に残ると思います。このプログラムを終えて帰ってきた参加者は全員ブラジルと日本の絆が途絶えないようにと願う気持ちがますます強くなったと思います。そして私も県人会にも協力していきたいと思っています。

この事業に参加する機会を与えていただけたことを大変感謝しておりますし、これからの私の人生にも役に立つ素晴らしい経験となりました。どうもありがとうございました。

参加者レポート（引率者）



D グループ

在ボリビア福岡県人会

川波 ユリ

KAWANAMI YURI

このプログラムに参加して日本の文化を体験した事、たくさん子どもたち、または引率者の皆さんと出会えた事は、私にとって忘れる事のできない素敵な思い出になりました。

育った国や母国語が違ったとしても、日本語で通じ合うということは素敵なことです。これから育っていく子どもたちにも是非、日本語を大切にしたいです。

このプログラムのお陰で、福岡の人は心温かいと実感できました。だからこそ、またいつか福岡に行きたいと思っています。できれば今度は、福岡県移住者子弟留学生として行き、このプログラムのお手伝いがしたいです。忙しい毎日でしたが、一日一日が新しい事ばかりで、すごく楽しかったです。おかげさまで、自分に自信も付き、責任感も強くなったと思います。

帰国後、このプログラムで出会った人たちとメールのやり取りをしながら、今回のプログラムのメンバー全員と、またどこかで集まる機会があれば良いなと思っています。

このプログラムが無事に終わったのは、国際交流センターの皆さんと留学生のサポートがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

最後に今回参加する機会をくださった皆さま、応援してくださった皆さまに心から感謝申し上げます。これからも是非、このプログラムを続けてください。



D グループ

コロンビア福岡県人会

古賀 百合 ルス アンヘラ

KOGA YURI LUZ ANGELA

私はこの子弟招へい事業に参加して、各国の参加者との交流や親睦を図ることが出来て幸運でした。このプログラムのお陰で、日本や福岡県について知る事が出来た事、私たちの親戚の人たちと会えた事、時間が非常に厳格に守られている事、日本の技術が大変優れている事、福岡県の風景が大変美しい事、人々が皆大変親切である事、日本の歴史や文化について、私が今まで知っていた知識を一層深める事が出来ました。そして私が20年前に見た福岡県が益々進歩、発展している事が非常に印象に残りました。

私たちは各国の移住者の一人として、今日、先駆者が歩いて来た道を受け継いで、日本の良い習慣や文化を広め、自分の務めを果たさなければならないと思っています。

この子弟招へい事業を計画された福岡県知事麻生渡様を始め、福岡県国際交流センターの皆様、福岡県移住者子弟留学生、その他のグループの方々、大変ありがとうございました。

最後に、この子弟招へい事業と私たち福岡県人会が末永く成功します様にお祈り申し上げます。

参加者レポート（引率者）



E グループ

メキシコ福岡県人会

平田 フランシスコ

HIRATA FRANCISCO

この事業は、非常にハードでしたが、子どもたちと一緒に行動することは、とても楽しい経験でした。そして、子どもたちが喜んでいてるところを見て、良かったと実感しました。また、色々な国の人たちや、10年以上会っていなかった友達たちや親戚ともう一度出会うことができ、感激しました。

この期間中、子どもたちが言葉が異なっても、交流が出来ているところや、今回参加した子どもたちが、日本のお風呂や日本茶をあまり経験したことが無いことに驚きました。

子どもたちは、最初は日本に対し「汚い」「古い」という悪いイメージを持っていましたが、この事業を通じてきれいで近代的なところでもあるが、伝統文化を守っている国というイメージに変わりました。

麻生知事は、「あなたたち日系人はとても大事な宝物です」とおっしゃいました。我々海外の日系人たちは、福岡の人たちよりもっと努力をして、日本のルーツを忘れずに、親密な強い集団と社会を作り、日本と各国にとって良い関わりを持たなければならないと思っています。

この度、素晴らしい事業に参加させていただきまして、福岡県国際交流センターと福岡県に、お礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



E グループ

ペルー福岡クラブ

クロイワ サンペイ アメリア ピラー

KUROIWA SANPEI AMELIA PIRAR

このプログラムで一番印象に残ったことは、福岡の人々の温かい心遣いです。小学校や視察先でお世話になった皆様、そして大島の人たちのことは、いつまでも私たちの心に残ることでしょう。

現在の日本は、祖先の苦勞、努力、根氣、そして日本人の価値観である誠実さと人間性があったからこそ、成り立っていると思います。祖父母のお陰でこの価値観を持っている私たちは、この点がペルー国民と異なったところであり、後世に残していかなければならないものだと思います。

また、帰国後、ホームステイした家族に教わった日本料理を、早速作ってみました。料理を作りながら思い出すことは、ホストファミリーの方々、明るく親切で何でも分かち合って日々を楽しんで暮らしていらっしゃる、仲むつまじいご家族だったことです。ホームステイの体験はとても良かったと思います。

今回2人の子どもを引率して、子どもには根氣よく愛情を持って接することが重要であると学びました。そして、私はまだまだ日本語の勉強が足りないと気づきました。私たちペルーの日系人は歴史的な事情があって、日本語能力が不足しているので、皆様とのコミュニケーションが十分にできなかったことを残念に思っています。

最後にこの旅は、祖父母の文化や習慣を体験する素晴らしい機会でした。そして、美しい自然の景色や珍しい物を自分の目で見るのができたことは、一生忘れることのない思い出になるでしょう。皆々様に心から御礼を申し上げます。

参加者レポート（引率者）



F グループ

サンフランシスコ福岡県人会

井上 ロルナ メグミ

INOUE LORNA MEGUMI

子弟招へいプログラムは一生に一度の経験でした。たくさんの方を見て、学ぶことができました。特に参加した子どもたちの目を通して日本の生活を見ることができたことはとても楽しかったです。

福岡県の子弟として世界各国から集まった子どもたちは、日本語で会話をしたりしていて、すぐに仲良くなりました。私自身は言葉の意味や文化的つながり、そして家族の絆を学びました。このような経験は子どもたちの将来に大きな影響を及ぼすと思っております。

毎日の生活を通して、礼儀や挨拶などの日本の習慣、文化的特色やこれらの重要性や意味を実際に感じる事ができました。また、日本人が文化、歴史、そして伝統に誇りを持っていることも学びました。

ホームステイでは、福岡の色々な地域を見ることができ、久留米の文化や歴史的なものも感じ取れました。福岡は美しい都市ですが、自然にも囲まれていて、また戻りたいと思っています。そして、日本人と福岡の人々の優しさにも触れることができました。私たちのバスが去っていくまで「さようなら」と言って手を振ってくれたことは、とても心温まるものでした。

このプログラムで県知事にお会いできたことには、感謝しております。このことは、私たちの心に、日本と福岡の強い印象として永遠に残るでしょう。

他の人たちにもこのプログラムへの参加を勧めたいと思っています。思い出に残る体験をありがとうございました。



F グループ

ハワイ福岡県人会

マスダ アイリーン ヤスコ

MASUDA EILEEN YASUKO

福岡に12日間滞在し、様々な場所を訪れたことは、期待以上のもので、とても充実した経験でした。

吉武小学校との交流は、言葉の壁があったにもかかわらず、子どもたちはお互いに笑顔でした。そして、日本の生徒たちは、先生や給食を作ってくれる人たちに、尊敬と感謝の意を表していました。

フェリーに乗り、大島小学校を訪問した時は、はっぴを着て山笠に参加し、お神輿を引きながら歩き、とても楽しかったです。紙テープでの見送りは、すごく感動的でした。

太宰府天満宮などの神社の訪問は、歴史の中に戻ったかのようなものでした。神社が美しいまま保存されていて、手入れが行き届いている事に感動しました。

和太鼓グループとの交流も楽しかったです。子どもたちが、同じ年の日本の子どもたちに太鼓の叩き方を教えてもらい、一緒に演奏した経験は素晴らしいことでした。とても上手に演奏できました。

私はこのプログラムに参加できたことを、とても感謝していますし、このプログラムがずっと続くことを願っています。そして、このプログラムが、日本と海外の架け橋になるだろうと思っています。この経験は、引率者と子どもたち全員にとって、“一生に一度の経験”であったに違いありません。温かいもてなしをありがとうございました。

参加者レポート

福岡県移住者子弟留学生



参加者レポート（福岡県移住者子弟留学生）



A グループ

トメアス福岡県人会

稲田 明 アウミー

INADA AKIRA ALMIR

短い期間でしたが、忘れられないほど楽しい思い出がいっぱいできました。私たちにこのチャンスをくれた福岡県に感謝申し上げます。毎日色々なところを見学したり、日本の文化を学んだり、日本を好きになっていく子どもたちの笑顔を見ることができ、良い勉強になりました。

子どもたちは、太鼓や和ごま交流を通して日本の子どもたちと、大切な絆を作れたと思います。吉武小学校では、日本の遊びを覚え、昼ご飯は冷汁を作って食べ、大島小学校では山笠にも参加でき、自国の学校との違いを学んだと思います。

色々な国から来た子どもたちが揃った時は、生活や文化の違いもあったので、少し不安になりましたが、3日くらい経つとみんな仲良くなりました。期間中は、グループの中では英語、スペイン語、ポルトガル語と日本語を使って話をしていたので、みんなと話すのが結構難しかったです。

私もこのプログラムで色々なことを学びました。グループ行動は、一人一人考え方が違うので大変でしたが、みんなで力を合わせて頑張り、大切な友達を作ることができました。

今まで知らなかった日本の経済、文化などについても学ぶことができ、子どもたちは喜んで国へ帰りました。将来福岡県移住者子弟留学生としてまた福岡県に帰ってきてくれるように願っています。



A グループ

ブラジル福岡県人会

平田 エリス 直美

HIRATA ELIS NAOMI

この事業では子どもたちだけではなく、私も日本の一般的な知識や生活についても学ぶことができ、福岡と日本のことを良く学習できました。

私は大学で教育学に関する研究をしているので、この事業で日本の小学校を訪問し、その環境に直接触れることができたことは、とても良い機会でした。常に子どもたちが忘れ物をしていないか、子どもたちの行儀作法はどうか、注意して見ることで、子どもへの接し方も学べ、責任感が強くなりました。

また、子どもたちは日本の子どもと言葉が通じないながらも身振り手振りで表現をしながら、お互いに理解している場面もあり、言葉が通じなくても交流ができることに感動しました。そして、初めは内気そうな印象だった子どもたちも、この事業を通して次第に自信をつけ、すぐにみんなが友達になりました。日本語での簡単な挨拶と自己紹介も覚え、日本文化を体験するとともに、日本語を勉強することに興味を持ったと思います。

私もそうでしたが、子どもたちは自国と日本を比べて、科学技術のすごさや日本人の正直さ、真面目さなどを認め、日本文化にもっと魅力を感じるようになったと思います。そして、その貴重な経験を通して、祖先の文化を守り続けるように、それぞれ自分の心に種を植えたはずです。

参加者レポート（福岡県移住者子弟留学生）



B グループ

ブラジル福岡県人会

永島 まり子 イラシ

EISHIMA MARIKO IRACY

このプログラムに参加した子どもたちは、日本語で挨拶をしたり、日本の生活を体験したりすることで、日本人は時間を守ることなど、母国に帰っても使える良いマナーをたくさん学ぶことができました。

日本の子どもたちと交流し、和太鼓、和ごま、折り紙、タングラムなども体験しました。子どもたちは日本語をあまり話せないので大丈夫かなと少し不安でしたが、ジェスチャーを使いながら交流できていたので無駄な心配でした。もっと日本語を覚えて交流したいという子どももいました。

小学校では冷汁を作り一緒に食べ、後片付けも一緒にしている姿を見て、本当にみんな良い子だなと思いました。そして、送別会で披露した南京玉すだれの練習も子どもたちは一生懸命にしていました。その他にも、このプログラムのおかげで、博多山笠祭り、トヨタ自動車九州工場、皿倉山帆柱ケーブルなど、色々な福岡見学ができました。

別れの日には子どもたちに「さようなら」を言いたくありませんでしたが、子どもたちが日本語を勉強して、将来私たちのように福岡県移住者子弟留学生として日本に来て、このプログラムのようにたくさんの良い思い出を作ることができれば良いなと願っています。



C グループ

ブラジル福岡県人会

秋岡 シルヴィア ルミ

AKIOKA SILVIA LUMY

このプログラムに参加した子どもたちは、最初は、同じ言語を話す子どもだけと遊んでいましたが、徐々に言語の問題は関係がなくなり、みんなで遊ぶようになりました。いつも一人で遊んでいた子どもがプログラムの最後の日にはみんなと一緒に遊ぶ姿を見てこのプログラムの結果に満足しました。

子どもたちは経験したことが全部好きだったようです。日本の技術と自然の調和を見ることができ、福岡で訪れた有名な観光地や楽しい活動は子どもたちの記憶にいつまでも残ると思います。彼らは実際に日本で過ごすことによって日本人の礼儀正しさがわかり、教育、自立、寛大さや尊敬について学ぶことができたと思います。

帰国した子どもたちからは、「福岡県移住者子弟留学生として、日本に帰りたい」「日本語を勉強したい」「自分の国で太鼓をもっと習いたい」などというコメントを聞いています。子どもたちがこのような考えを持つことは、このプログラムの目標の一つだったと思います。また子どもたちのお母さんからも感謝のメールを受け取りました。

私は子どもたちの面倒を見るだけでなく、引率者とも友達になることが出来ました。この体験はいつまでも記憶に残ると思います。このような素敵なプログラムに参加させていただいて、福岡県と福岡県国際交流センターの皆様本当に感謝しています。

参加者レポート（福岡県移住者子弟留学生）



D グループ

在ボリビア福岡県人会

川波 真理

KAWANAMI MARI

このプログラムはとても楽しかったです。日本文化を体験して、様々な人との交流ができた中で一番の思い出は、大島小学校の皆さんが見送りをしてくれたことです。学校の子どもたちが紙テープを持って「さようなら」と言ってくれた姿を見たときは、大島に来て良かったと思いました。

参加した子どもたちはあまり日本語がわからなくても、和ごまや和太鼓グループとの交流ができ、とても良かったと思います。また、皿倉山から北九州市を見た時は、美しくてボリビアのコチャバンバのことを思い出しました。

各国の引率者とも話ができて、全ての国の福岡県人会が一つになったように感じました。私の祖母はハワイに旅行したことがあるのですが、ハワイの引率者と話をした時に、祖母が話してくれた旅行の思い出が蘇りました。

このプログラムに参加して様々なことを学びました。子どもたちは、家族と離れていても皆と仲良く遊び、引率者はプログラムが成功するために頑張って子どもたちのお世話をしていました。日本の小学校の子どもたちは外国の子どもたちと友達になり、日本の食事や習慣を新しい友達に教えてくれました。

私もボリビアから離れていても、頑張ってもっと日本のことを覚え、楽しみたいと思います。



E グループ

ペルー福岡クラブ

梅崎 カリジョ レスリー

UMEZAKI CARRILLO LESLIE

福岡県人会子弟招へいプログラムはとても面白いと思います。子どもたちは親切で明るく、すぐ日本の文化に慣れました。それに博多町屋ふるさと館などを見学して、福岡の歴史についても勉強することができました。そして子どもたちは日本の小学校を見学し、日本の子どもと交流し、一緒にお昼ご飯も食べることができ、伝統的な日本の遊びも経験することができました。

文化と言葉は国によって違いますが、子どもたちはお互いに理解し合い、友達になることができました。

日本の7月の天気は蒸し暑いので、子どもたちは街を歩いていると疲れていました。そして、子どもたちは来日前に去年のスケジュールを見ていたので、去年と同じように野球の試合を見ることができると思っていたのですが、今年は組み込まれていなかったもので、特に男の子たちは残念そうでした。

ホストファミリーとの交流は、日本食を食べたり、和室で寝たり、日本語で挨拶をしたりと、日本の家族の生活を見ることができ、一番大切な体験だったと思います。子どもたちは、このプログラムを通じて日本のことだけでなく、生活のことについても学ぶことができ、とても成長できたと思います。

参加者レポート（福岡県移住者子弟留学生）



F グループ

ブラジル福岡県人会

南 ビビアン 千秋

MINAMI VIVIAN TIAKI

短い期間でしたが、この事業を通して、子どもたちや引率者たちと過ごした時間は、最高でした。もちろん、とても疲れた時もあったし、子どもたちを叱らなければならないこともありましたが、彼らと一緒に遊んだ時間は、何よりも楽しかったです。

色々な経験を通して様々な人に出会い、また私自身も責任を持つことができ成長できたと思います。この事業に参加する前は、子どもがあまり好きではありませんでしたが、今回、私は子どもが大好きだと気付き、彼らとの別れが悲しかったです。この短期間に、参加者全員と一つの家族になることができ、私たちは一生の深い絆で結ばれたと思います。

将来、子どもたちが私たちのことを忘れたとしても、日本で過ごしたこの10日間の経験が素晴らしかったことを覚えていてくれれば、私はとても嬉しいです。この事業に参加させていただいたことを、福岡県国際交流センターの皆さんに本当に感謝しています。



F グループ

ブラジル福岡県人会

砥綿 アンナ カロリーナ

TOWATA ANA CAROLINA

子弟招へい事業では、参加者全員が自分のルーツについて学ぶ機会があり、福岡県はとても素晴らしい所なので、みんな福岡県に対する興味が大きくなりました。そして、参加者は様々な国から来ていたので、それぞれが日本や他の国の文化を少しずつ学ぶことができ、他国の参加者と友達になることができました。このことは、海外福岡県人会にとって、とても大切なことだと思います。「友達にもう一度会いたい」という気持ちを持っていれば、もっと各県人会の活動が活発になると思います。

プログラム期間中は、自分一人では行く機会の無い場所を訪れることができました。日程はとても忙しかったですが、こんなに良い機会は一生のうちに二度と無いと思います。例えば、日本の小学校との交流や福岡県庁の見学、大島の山笠にも参加しました。福岡県知事と福岡県議会議長にも初めてお会いしました。もしこの事業に参加していなければ、絶対に日本の小学校やトヨタ自動車工場、大島や皿倉山などへは行くことができなかったと思います。

最近の日系人の子どもたちはあまり日本語を話せませんが、今回来日した子どもたちは、一生懸命に日本語の勉強をしなければならぬと思いながら帰国しました。子どもたちは日本で覚えた文化を、兄弟や自分の国の友達に教えることを楽しみにしていると思います。

福岡県の海外県人会について

福岡県の海外移住

(1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まり、124年を経過

(2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

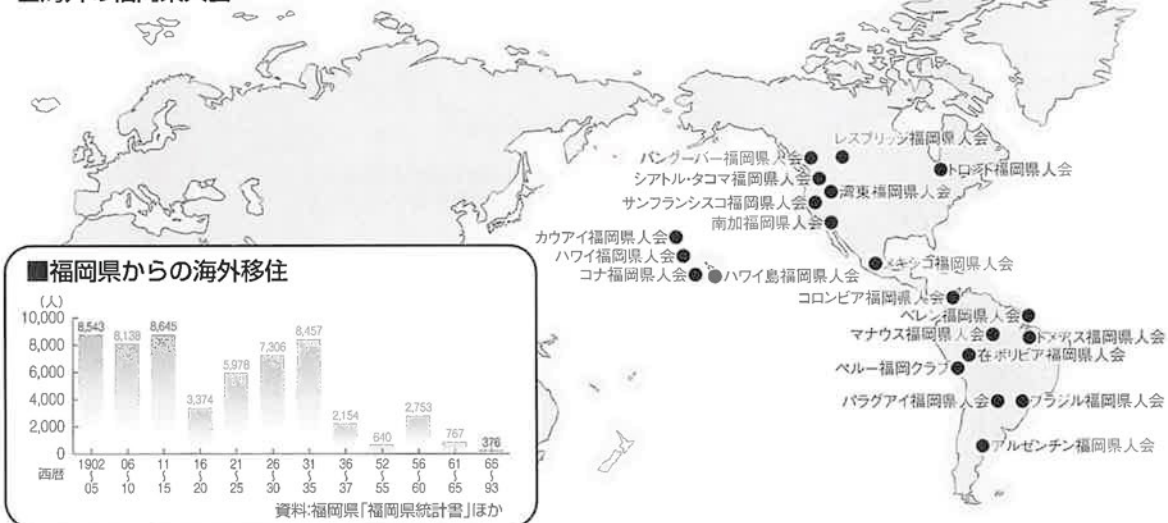
戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

■海外の福岡県人会



アルゼンチン共和国	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ島福岡県人会
ボリビア多民族国	在ボリビア福岡県人会		バンクーバー福岡県人会		カウアイ福岡県人会
ブラジル連邦共和国	ベレン福岡県人会	コロンビア共和国	コロンビア福岡県人会		コナ福岡県人会
	ブラジル福岡県人会	メキシコ合衆国	メキシコ福岡県人会		南加福岡県人会
	マナウス福岡県人会	パラグアイ共和国	パラグアイ福岡県人会		サンフランシスコ福岡県人会
	トメアス福岡県人会	ペルー共和国	ペルー福岡クラブ		シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ福岡県人会		湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会

海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

(目的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

(事業の実施)

- 第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する。
- 1 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。
 - 2 実行委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

(会議)

- 第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。
- 2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

(事業)

- 第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業（以下「招へい事業」という。）の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。
- (1) 事業計画と事業予算の決定
 - (2) 招へいする子弟及び引率者（以下「招へい者」という。）の決定
 - (3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項

(招へいする子弟の条件)

- 第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。
- (1) 招へい事業の目的を理解していること
 - (2) 海外福岡県人会会員の子弟であること
 - (3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること
 - (4) 本人自らが、日本の生活や文化に興味があり、それらを体験しようとする積極的な気持ちを持っていること
 - (5) 心身に健康であること
 - (6) 日常の身の回りのことが一人でできること
 - (7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること
 - (8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること
 - (9) 以前に当プログラムに参加したことのない子弟であること

(引率者の参加条件)

- 第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。
- 2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。
 - (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
 - (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
 - (3) 海外福岡県人会の会員であること
 - (4) 招へいする子弟の祖父母、父母、兄、姉、伯父（叔父）、伯母（叔母）ではないこと
 - (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
 - (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること
 - (7) 日本の生活様式や文化に興味を持っていること、またそれらを体験しようとする積極性を持っていること
 - (8) 日本の家庭にホームステイをして交流できること
 - (9) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること
 - (10) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

(申請書の提出)

- 第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書（様式第1号）もしくは引率申請書（様式第2号）に親権者の承諾書（様式第3号）を添え（親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要）、海外福岡県人会長（以下「県人会長」という。）に提出しなければならない。
- 2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書（様式第4号）を添えて、委員長に提出するものとする。

(招へい者の決定)

- 第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置する。
- 2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。
 - 3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書（様式第5号）を交付する。

(選考委員会)

- 第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。
- 2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

(経費)

- 第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

(事務局)

- 第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を財団法人福岡県国際交流センターに置く。
- 2 事務局長は財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

(その他)

- 第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

サンパウロ新聞 2009年7月21日（火曜日）掲載

触れ合い体験で識るルーツ

麻生渡知事も一行歓迎

海外福岡県人子弟が研修に



麻生県知事にプレゼントを贈る子供たち

【福岡発】吉水拓哉福岡県人会の後継者育成を目的として、県人会子弟を母国に招き、福岡の自然や文化、県民たちのふれあいを体験させる「海外福岡県人会子弟招へい事業」が、今年十月一日から実施されている。昨年以降、今年で二度目となった同事業では、ブラジル、ペルー、アメリカなど六カ国の福岡県人会から来た二十一人、引率者十人が来日。県内の吉武小、大島小で小学生同士の交流を行ったほか、福岡、北九州市内を見学した。

子供たちは十六日午前、麻生渡知事（海外日系人協会会長兼任）を表敬訪問するため、福岡県庁を訪れた。特別会談室のテーブルで、行儀よく待機し、麻生知事が現れると起立、礼をした後、元気よく「おはようございます」と挨拶、知事の顔をほころばせた。

同招聘事業の発案者でもある麻生知事は、挨拶で「福岡県は皆さんの父祖の地です。皆さんのルーツを知って頂くことも、日本の子供たちと仲良くなつて帰つてもらいたい」と話した。

また、麻生知事は、同事業の世話役として子供たちと行動を共にしている南ヒビアンさん（二

四、九大法学部）ら県費留学生たちに対し、「ご苦労さまです」と感謝の意を述べた。

表敬訪問では、知事と子供たちとの対話の時間

が設けられ、バラ、デミナス市の柔道教室に通っている三田フェリツペ君（一）が「知事は柔道が強いんですか」と質問すると、麻生知事は「強いです。私は柔道四段で、得意技は内股だ」と、終始子供たちに視線を合わせながら楽しそうに話した。

最後に知事と子供たちとのプレゼント交換が行なわれ、ブラジル福岡県人会の子供たちは、移民

百周年記念録や記念DVDなどを手渡し、麻生知事は子供たち一人ひとりに「ごま」を贈った。

ベレンから来た小野へアトリアさん（四）は「とても優しい知事だ」と笑顔を見せた。

今後、子供たちは、太宰府天満宮や九州国立博物館などの見学や、ホームステイを体験する予定で、二十二日に帰国する。

西日本新聞 2009年7月17日（金曜日）掲載

海外移住者の子孫が来県

ブラジルやポリビアなど6カ国
知事と懇談、和ごまを体験



人が16日、県庁を訪れ、麻生渡知事と懇談した。子どもたちはブラジル、ポリビア、コロンビアなど6カ国から11日に来日。22日まで滞在し、自動車工場などを見学した。

海外に移住した県出身者の子孫で10、13歳の子ども20人を含む訪問団30人が、麻生渡知事と懇談した。知事は「ふるさとを、県和ごま競技普及協会の児童の人の指導で体験した。写真、児童たちは身が手ぶりで、方々を子どもたちに教えていた。2、3回練習するうちに、ごまが回るようになり、会場のおちうちから大きな歓声が上がっていた。

（一）後、子どもたちは、太宰府市の九州国立博物館と太宰府天満宮を見学。同天満宮では、日本の伝統的遊びの和ごま回しを、県和ごま競技普及協会の児童の人の指導で体験した。写真、児童たちは身が手ぶりで、方々を子どもたちに教えていた。2、3回練習するうちに、ごまが回るようになり、会場のおちうちから大きな歓声が上がっていた。

り、県内の小学生らと交流した。

ブラジル在住で引率者の連本美智恵（マリ）さんは「素晴らしい体験を通じ、日本とそれぞれの国の懸け橋になれば」とあいさつ。知事は「みなさんのルーツの地を知っていただきたい。見聞を広めて、心の糧にしても受けたい」と応じた。



Short Term Visit Program for
Young Descendants of Immigrants
from Fukuoka Prefecture